

『羽村市史 資料編』の刊行について

■概要

市史編さん室では、市制30周年を迎える平成33年に向け、平成25年度から平成33年度にかけて、羽村の原始から現代に至る歴史に自然や民俗分野も含めた「羽村市史」の編さん事業を進めています。

「羽村市史」は、平成33年度までに、本編2冊、資料編8冊、ダイジェスト版1冊を刊行する予定ですが、そのうち、今年3月に資料編2冊「近現代図録」と「中世」が完成しましたので、お知らせします。

●『羽村市史 資料編 近現代図録』

「資料編 近現代図録」は、明治以降、特に第二次世界大戦後を中心とした羽村市の歩みを写真でまとめたものです。

写真からは羽村の懐かしい風景とともに、羽村のまちづくりのため、発展のために尽力された先人の方々の思いを感じ取ることができます。

羽村の景観や産業、教育(学校)、鉄道・道路などのインフラ整備、くらしの変化などが、当時の写真と解説でわかりやすい内容となっています。



●『羽村市史 資料編 中世』

「資料編 中世」は、中世期に「^{そまのほ}杣保」と呼ばれた現在の羽村市域を含む一帯を支配していた三田氏、その後の大石氏、北条氏に関して、現在確認できる古文書や家系図などの古記録、また市内に残された人々の信仰の様子がわかる、石造供養塔を集成した資料集となっています。中世期の古文書史料の集成は、今回の資料編が初めてとなっています。



なお、販売価格は「資料編 近現代図録」と「資料編 中世」とも各2,000円です。
問合せ 企画総務部市史編さん室電話 042-555-1111 内線 364・365